



令和2年1月14日

**「広島における女性の防災取り組みへのエンパワメントを支える」
プログラムを開催します**

広島大学は、UNITAR(国際連合訓練調査研究所)、国際開発センター、ひろしま NPO センターと共同で、講演とワークショップからなるプログラムを、令和2年2月11日(火)に本学霞キャンパスにて開催します。

広島県は2014年に引き続き、一昨年豪雨土砂災害の被害を受け、まだ復興の途中です。災害は、いつやってくるかわかりません。そのため日頃からのコミュニティを巻き込んだ防災への取り組みが大切です。

本プログラムでは、午前中に女性と防災に関して、全国で活躍される2人の招待講師による講義を予定しています。午後からは、参加者が主体となって、近年の災害での支援の経験や、経験から生まれた今後の課題などを基にワークショップを実施し、最後にプログラム参加者からの提言を行う予定です。

プログラムへの参加(高校生以上)は無料で、災害への支援経験は問いません。みなさまのご参加をお待ちしております(ワークショップへの参加は、先着40人になります)。

●招待講師による講義

日時：2020年2月11日(火) 10:00~12:00

場所：広島大学 霞キャンパス 保健学科棟 講義室203号

招待講師

池田恵子氏(静岡大学教育学部、静岡大学総合防災センター 教授)

「日本における防災と女性」(仮)

神原咲子氏(高知県立大学看護学部 教授)

「岡山真備地区からの経験とこれから」(仮)

●ワークショップ(先着40人)

日時：2020年2月11日(火) 13:00~16:00

場所：場所：広島大学 霞キャンパス 保健学科棟 講義室301号

●申し込み先

別紙チラシをご覧ください。

※詳細は別紙参照

【お問い合わせ先】

広島大学大学院医系科学研究科 国際災害看護 プログラムオフィス

Tel : 082-257-5386 FAX : 082-257-5386

E-mail : jyoseibosai@gmail.com

発信枚数：A4版 2枚(本票含む)

参加者募集中！！

広島における女性の 防災取り組みへの エンパワメントを支えるために

その効果的なプログラムとは？

【要旨】

日本の防災における女性の役割、その昨近の変化、どこに向かってゆくのか。地域の実践と共に、行政での動きの理解を深めるために女性と防災の分野でも全国的に活躍されている講師お二人をお招きします(午前)。午後からのワークショップでは、参加者同士の交流を深めつつ、災害での支援経験がある方もない方も含めて、現在での課題整理やその解決策を共有し、このプログラム参加者からのメッセージ発信を目指します。

招待講師

- * 池田恵子氏 (静岡大学教育学部、静岡大学総合防災センター 教授)
日本における防災と女性 (仮タイトル)
- * 神原咲子氏 (高知県立大学看護学部 教授)
岡山と高知での防災と女性 (仮タイトル)



日時: 2020年 2月11日(火) 10:00-16:00
(9:30受付開始)

場所: 広島大学 [霞キャンパス](#) 保健学科棟

講義 203号室 ワークショップ 301号室

参加費: 無料 (ワークショップは、先着40名様)

申し込みは下記へお願いします (講義、ワークショップ どちらかへの参加のみでも可能です)

名前、所属、連絡先 (当日の緊急連絡のため)
弁当の注文有無を、

Email: jyoseibosai@gmail.com または電話 &
FAX: 082-257-5386 右のQRコードからもどうぞ。



広島大学



unitar

United Nations Institute for Training and Research



国際開発センター



特定非営利活動法人

ひろしまNPOセンター